

2013 年 5 月 1 日

斎藤友紀雄 様

世界自殺予防デー、2013 年 9 月 10 日開催

このたび、皆様にご協力を賜りたくご連絡を差し上げております。本年 IASP と WHO は、「スティグマ：不名誉のそしりこそが自殺予防の大きな妨げ」というテーマのもと、世界自殺予防デーを共同開催いたします。

世界自殺予防デー(WSPD)は、自殺予防の重要性を示すメッセージを外部に発信し、目にとめてもらうために不可欠なルートになります。この日は、自殺予防の意識を高めることのみスポーツライトを当て、一般市民から当該分野で働く方々まで、全世界のコミュニティーが一堂に会します。

昨年の WSPD は過去最高の成功をおさめました。ウェブサイト上に並ぶ 75 カ国で、450 種類を上回る活動や行事が開催され、われわれは、WSPD のメッセージを 48 の言語で発信し、1,400 通を上回る証明書を発行しました。また、新しい人々ともつながりました。2 万人超が参加し、Facebook の WSPD のページには 8 万 7 千人のゲストが訪れました。さらに、オンラインで 6,931 件のプレスリリースを発表し、世界中の新聞に 800 通を超える文書を掲載しました。世界の 14 の地域で WSPD を立ち上げ、これまで以上に多くの人々に連絡が取れるようになりました。

本年はこれまで以上のことをしたいと考えています。本年のテーマは特に重要で、自殺予防でもっとできることがあるとすれば、スティグマへの取り組みは不可欠です。このためわれわれは、ご協力を賜りたくご連絡をいたしました。WSPD への参加を呼びかけて促す声を集め、それをさらに遠くまで届ける必要があるということ、あなたにも広めていただきたいのです。

本年もわれわれが主宰者となり、世界中で開催される活動や行事に関する情報をウェブ上に流し、その行事それぞれを結び付けるお手伝いをいたします。WSPD に際した行事を開催していただけますでしょうか。それがご無理な場合、ほかの方に開催していただくよう働きかけたり、地元での行事を支援したりしていただくことは可能でしょうか。このほか、WSPD に際して午後 8 時に窓辺でキャンドルに火を灯し、さまざまな言語でハガキを作成していただき、郵送またはメール送信していただくようお願いすることにしております。それをお手伝いして、メッセージを広めてくださいますでしょうか。

このほか、われわれは今年初めて、WSPD の中心的な活動を主宰します。「WSPD 自転車世界一周」は、世界的な活動であり、会員もそうでない方も等しく参加していただけることを望んでおります。われわれの目的は、全貢献者の方々から総マイル数、地球一周の距離である 40,075 km (24,901 マイル) を集めることにあります。参加される方々には少額の登録料にて IASP にご登録いただければ、正式なサイクルナンバー、正式なスポンサー用紙と完走証明書を発行いたします。参加者の皆さまには金額に関係なく提供資金をお送りいただくようお願いしており、お選びになった地域または国の自殺予防チャリティーに上乘せされます。

この新しい活動には興奮を覚えます。それは国際社会に集中し、自殺とその予防に対する世界全体の意識を高め、それにまつわるスティグマを減じるというひとつの焦点に貢献します。さらに、当日には実際的な要素が加わり、世界中の自殺予防団体に資金がもたらされます。何度も恐れ入りますが、周りの方々にも参加を呼びかけていただけませんか。最少マイレージは設けておりませんし、自転車をこいでいただくのは室内でも屋内でも構いません。また、9月10日当日でもそれまでのどの時点でもしていただいても構いません。

詳しくは、WSPD のウェブページ www.iasp.info/wspd/index.php をご覧ください。

ご尽力くださるにあたり、われわれにお手伝いできることがあれば、どうぞ遠慮なく IASP の中央管理事務所宛て wspd@iasp.info にご連絡ください。自殺とスティグマに関する告知をご用意していますので、下記(訳注:添付の文書のことです)をご覧ください。数分で読み終える程度です。

何卒よろしくお願い申し上げます。

Lanny Berman PhD.
IASP President

Paul Yip PhD.
IASP Vice President and Convener of WSPD